

大濱信泉プロジェクト『勇気づけの教育』の推進 (49)



～ GIGA スクール構想と子どもの「熱意」について ～

石垣市教育委員会 学校教育課 比嘉 幸宏

1人1台PC環境(GIGA端末)の活用が始まっています。GIGAスクール構想により、必然的に授業の在り方、子ども達の学び方が大きく変わっていきます。また、子ども達の学びは、社会の変化と連動し、学校というコミュニティだけではなく、地域を飛び越えて日本全国、世界へと広がっていきます。

さて、6月初旬に本市では、GIGA端末のお試し持ち帰りを実施いたしました。ご家庭ではどのように対応されましたか。お子様と一緒にGIGA端末、アカウント、利用ルール等を確認できましたか。

このGIGAスクール構想の成功の鍵は、ご家庭にもあります。大人も子どももスマートフォンを持つ時代になりました。インターネットでの検索、カメラや録音機能、その他、様々なアプリを活用しての学びや趣味の広がり、SNSでの連絡や情報共有等、日常生活の機器として手放せないものとなりました。1人1台のGIGA端末の活用は、児童生徒全員がその恩恵を学校でも家庭でも受けることになります。しかし、この恩恵を受けるためには、遊び道具ということも含め「学びに役立つ道具」、「生活に欠かせない道具」として、すべての人が認知し個人管理をしていかなければならないのです。

「YouTubeばかりみている。」「チャットばかりやっている。」「夜中起きて生活リズムが崩れるかも。」等、ネガティブな思考は不安を高めるので、GIGA端末活用のデメリットが大きく聞こえるかもしれません。GIGA端末を活用するということは、スマートフォンと同じように家庭管理、個人管理へと移行していかなければならないのです。

想像して見てください。子ども達にとって、GIGA端末は最高の道具です。遊ぶことしか興味がなければ、遊び道具として活用するでしょう。でも学びは遊びから始まります。子ども達を見ると、「電源を付ける」「ピンチアウトで拡大する」「スワイプでスライドさせる」なんてことは朝飯前です。やりたい事をやりたい一心で、誰に教わったわけではないのにどんどん活用を広げていきます。

私は、この子どもの「熱意」を大事にして欲しいと思います。GIGA端末は、子どもの「熱意」をより高めるための道具です。もちろん、子どもは「熱意」を自分で有効にコントロールできない状態になることもあると思います。GIGA端末を活用するということは、そのことを避けては通れません。活用する以上、様々な情報と出会うことになるからです。だからこそ、それを想定した上で、これに向き合い自己調整する力を育成していくことが必須条件なのです。

本市では、子どもたちの「自律の力」を高める取り組みをスタートさせました。それは、好きなことに好きなだけ取り組める子どもの特権である「熱意」を大切にしたいからです。GIGA端末を危険な物として位置づけては、これからの時代を生き抜く力の育成は図れません。「熱意」を制限するのではなく、うまくコントロールできる方法を一緒に考え、よい関わり方を家庭、地域で共有していくことが重要です。そのような取り組みが広がるよう一緒に考えていきたいと思っております。

よい環境は、よい言葉から生まれます。よいイメージは、よい思考から生まれます。保護者の皆様におかれましては、子どもと一緒にGIGA端末を活用していただき、よい活用方法や子どものよい変化についても、学校、石垣市教育委員会までご報告いただけたらと思います。

インターネットは、子どもたちの未来にとって素晴らしいものです。石垣市教育委員会では、すべての子どもにとって、GIGA 端末が有効な文房具となるよう、GIGA スクール構想を全力で取り組んで参りますので、保護者、地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。